

★44回大阪研 実行委ニュース

2枚ごみ

2012.
6月27日㊤

みなさん 毎日お疲れ様です。
どこもかしこも忙しい日々...という中
7月1日の大阪研も迫ってきました。

現在参加の確認がとれているのは、約600名です。
最後のお声かけをおと1人2人...
よろしくお願ひします。

とくに、分科会の⑨と⑬の参加が著しく少ない状況です。
せひとも、皆さんの地域から、どなたか参加して
頂きますよう、ご案内ください。

第9分科会

交流 連絡協議会の活動を豊かに

世話人 中山洋美 (東大阪指導員)

植田貴士 (吹田保護者)

第9分科会では...

学童保育の充実を願い、助け合って子育てするために、連絡協議会があります。学童保育制度をよりよくするための活動をしたり、保護者が力を出し合って子どもたちの喜ぶ行事をつくったり…。そこには、運営の大変さもありますよね。悩みや喜びを率直に出し合って、連絡協議会の活動について考えます。

討議の柱

- ・なぜこの分科会を選んだの？
- ・安心して預けられる豊かな環境をどうつくるの？
- ・子どもの生命をどう守るの？
- ・事例を出し合ひましょう。
- ・しんどいこともあるけれど、楽しいこともあるねん

分科会の流れ

提案→討議の柱に沿って自己紹介→討議①→休憩→討議②→まとめ→アンケート





実践交流 大規模学童保育の運営の工夫と分割へのみち

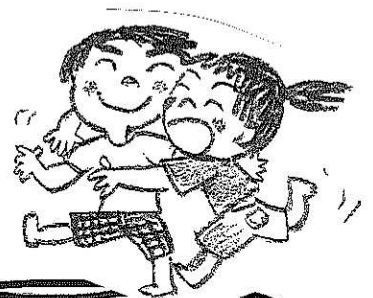
茨木の坂田指導員からの報告では、大規模学童の保育の実態と適正規模での保育の実態を子どもの立場、指導員の立場、保護者の立場にたって比較し、なぜ、適正規模の保育が求められるのかを考えていきます。また、実践交流からは、それぞれの保育での指導員と子どもたち、子どもどうし、指導員と保護者、保護者どうし、子どもたちと保護者の関わりから集団づくりにどのような影響があるのかを実践交流していく中で福田先生からの助言をとおしてさぐっていきたいと思います。大規模で運営している学童保育、分割しているが運営に課題を抱えている学童保育、適正規模の学童保育、それぞれの学童保育の実態を交流することであらためて適正規模の大切さを確認できればと思っていますので、大規模以外の方も参加してください。

(川崎みゆき)

.....

助言者 福田 敦志(大教大)
 世話人 川崎 みゆき(吹田(福))
 報告 坂田 歌代(茨木(福))

- 児童数 66 人から、いきなり児童数 30 人増
- 2011 年スタート時から、施設・指導員体制など問題山積み
- 校舎耐震工事のため、夏休みの期間限定の 2 分割
- たかが 2 分割、されど 2 分割



当日の要約に載せる“主旨”を送っている。悩みや苦しみも出さず、(り)語(ま)「参(り)してもイロ！」という方があれば、事務局にお知らせ下さい。

大阪厚保協 Tel 06-6763-4381
 Fax 06-6763-3593